

令和5年第5回福岡市議会（定例会）提出意見書案概要

意見書案第8号 公平かつ安全なブラッドパッチ療法の実施に向けた適切な措置を求める意見書案

脳脊髄液漏出症（減少症）の患者への、公平かつ安全なブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）の実施に向け、起立性頭痛を伴わない患者も保険診療のもとにブラッドパッチ療法を受けられるようにすることや、X線透視下で治療を行うことができるよう、診療報酬上の評価を行うことを要請するもの。

意見書案第9号 地方財政の充実・強化を求める意見書案

多様化し複雑化した行政需要に対応するため、令和6年度の政府予算と地方財政計画の検討に当たっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の充実・強化を目指す必要がある。よって、増大する地方自治体の財政需要に見合う地方一般財源総額の確保、地方財政計画に計上されている「地方創生推進費」の現行水準の確保、炭素に係る税を創設する場合にその一部を地方税又は地方譲与税として税源配分することを要請するもの。

意見書案第10号 教育予算の拡充を求める意見書案

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大して以来、子どもたちの心理的負担が増大しており、教職員らが不断の努力を続けている。子どもたちの教育水準を向上させ、豊かな学びを保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要であり、国の施策として財源措置を行い、十分な教育予算を確保することが必要である。子どもたちの教育環境を更に改善していくため、地方自治体の教育行政の充実に向けた教育予算の拡充を図るよう要請するもの。

意見書案第11号 帯状疱疹ワクチンの助成制度の創設及び定期接種化を求める意見書案

帯状疱疹は、日本人は50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われている。発症予防のためにワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。よって、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、帯状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を行うよう要請するもの。

意見書案第 12 号 核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書案

我が国が、核兵器のない世界に向けた国際的な機運が高まっているこの機会を逃すことなく、核兵器禁止条約の実効性を高めるために主導的役割を果たすことが今こそ求められている。よって、本年 11 月に開催予定の第 2 回締約国会議にオブザーバーとして参加するとともに、核兵器禁止条約に早期に署名・批准した上で、核保有国を含む核兵器禁止条約に署名・批准していない国に対し、署名・批准を求めるよう要請するもの。

お問い合わせ

議会事務局調査法制課

電話番号 : 092-711-4749

F A X 番号 : 092-733-5869